

平成17年1月26日

揮発性有機化合物（VOC）排出抑制検討会
接着小委員会 御中

接着小委員会 委員 高坂 勇次
（日本ゴム工業会環境委員会 委員長）

規模要件と基準値及び猶予期間に関する意見

1月14日の接着小委員会の審議結果を基に、次回接着小委員会に於いて検討を予定されている「規模要件」と「基準値」及び「猶予期間」に関して意見をまとめました。

ご検討をお願いいたしたく、ここに提出いたします。

1. 規模要件

ゴム工業会会員会社からの回答データについて、裾切り指標に対する施設数および潜在的VOC排出量を再整理（送・排風能力10,000～30,000Nm³/hを細分化）した結果を、付表に示す。

排出抑制専門委員会（12月14日開催）で裾切り数値の目安として提示されたVOC年間排出量50トンに対応する平均送・排風量は15,000Nm³/h以上となる。1月14日の小委員会に提出した意見書でも要望したが、規模として15,000Nm³/h以上を要望する。

2. 基準値

接着に係る規制対象施設の排出基準値（案）として、1,000 ppmCが提案されているが、ゴム工業会から「VOC排出濃度実測データ」で提出した中には、処理後のトルエン濃度が25～450 ppmの施設が存在する。ppmCは7倍になるとのことであり、換算すると175～3,150 ppmCになる。

処理の改善を行い排出濃度の低減を行うが、1,000 ppmCは厳しく、ご配慮頂きたく要望する。

3. 猶予期間について

既設設備にVOC処理装置を導入するにあたっては、除去率を考慮した装置の検討、生産を配慮し且つ安全性を確保した処理装置導入工事（処理装置設置スペース確保の為の設備の移設、処理装置の設置等）及び処理能力確認と改善工事等を考慮して、猶予期間については最大限の猶予を希望する。

以上

付表 - 1 裾切り指標に対する潜在的VOC排出量及び施設数（ゴム工業会）

送風能力(Nm ³ /時)	施設数 (件)	VOC排出量 (トン/年)	平均排出量 (トン/年)
500 未満	13	134.8	10.4
500 ~ 1,000 未満	35	96.4	2.8
1,000 ~ 3,000 未満	59	175.1	3.0
3,000 ~ 5,000 未満	17	170.7	10.0
5,000 ~ 10,000 未満	52	1,790.0	34.4
10,000 ~ 12,500 未満	11	436.1	39.6
12,500 ~ 15,000 未満	2	56.0	28.0
15,000 ~ 17,500 未満	4	185.4	46.4
17,500 ~ 20,000 未満	2	227.0	113.5
20,000 ~ 22,500 未満	3	283.2	94.4
22,500 ~ 25,000 未満	4	730.0	182.5
25,000 ~ 27,500 未満	2	672.0	336.0
27,500 ~ 30,000 未満	1	145.0	145.0
30,000 ~ 50,000 未満	5	621.5	124.3
50,000 以上	1	413.0	413.0
合計	211	6,136.2	

以 上